

死亡症例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成20年3月31日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No	備考
54	B-07000599	女性	68歳	75 mg	プレドニゾン 人免疫グロブリン	白血球数減少 肺炎	死亡 死亡	発熱が持続しており、インフルエンザA型と診断され、夕方からリン酸オセルタミビル服用開始。 服用2日目、朝から低酸素血症、低血圧が出現。CTにて右上葉以外に肺炎像、両側胸水貯留あり。抗生物質に変更し、シベスタットナトリウム水和物投与開始。急激な白血球減少あり。βDグルカン陰性、尿中レジオネラ抗原も陰性。後日、血中アスペルギルス抗原陽性が判明。喀痰からMRSAが検出。服用開始2日目、呼吸不全進行し、ショック状態となり気管内挿管、人工呼吸管理。ショックから離脱できず心マッサージなど必要となり、家族立会いのもとで蘇生中止し、死亡。	死亡-52	
55	B-05024749	男性	71歳	75mg	ベシル酸アムロジピン 硝酸イソソルビド シロスタゾール エパルレスタット トリアゾラム	播種性血管内 凝固 多臓器不全 劇症肝炎	死亡	狭心症、高血圧、緑内障、糖尿病、慢性気管支炎及び心房細動の患者。発熱があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用2日目、呼吸困難のため、入院。食欲低下、下痢、腹水を認め、肝機能が悪化。さらに腎機能も悪化し、播種性血管内凝固による多臓器不全と考えられ、輸血等が開始された。腹膜透析を施行するが、入院5日目、呼吸停止、死亡。なお、本剤のリンパ球刺激試験(DLST)の結果は陽性であった。	死亡-53	
56	B-05001264	男性	72歳	75 mg	ジクロフェナクナトリウム ナフトピジル	突然死 心肺停止	死亡 死亡	破傷風(その後遺症による下肢変形、下肢麻痺)の既往歴あり。前立腺肥大症の患者。朝、発熱があり、ジクロフェナクナトリウム座剤を投与。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル75mgを屋すずに服用(併用薬は左記のとおり)。その2時間半後、解熱したが、夕方、心肺停止状態で発見。回復せず、死亡。	死亡-54	2007/10/1以降追加報告
57	B01-2125	男性	73歳	150mg	クラリスロマイシン 塩酸アンブロキシオール 塩酸チアラミド トロキシビド ロサルタンカリウム フロセミド プレドニゾン 硝酸イソソルビド ツロブテロール ファモチジン プロピオン酸フルチカゾン テオフィリン	急性肝障害 急性腎不全	死亡	肺結核(左上葉切除)、虫垂炎及び気管支ぜん息の既往歴あり。喘息重積発作にて入院。低酸素血症による肝障害、高尿酸血症を併発。約3ヶ月後退院し、その4日後にインフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用終了後4日目に、肝機能異常、腎機能異常等が認められ、入院。その翌日、急性腎不全となり、血漿交換、透析を開始。リン酸オセルタミビルの服用終了から約2週間後、肝不全及び腎不全で死亡。	死亡-57	
58	B-04001536	男性	74歳	150mg	アルファカルシドール レボチロキシナトリウム 酸化マグネシウム ダイオウエキス ポリカルボフィルカルシウム ラクタミン アルジオキサ ピオチアスターゼ2000配合剤 ファモチジン オクトチアミン・B2・B6・B12配合剤 電解質輸液 生理食塩液 ロキソプロフェンナトリウム、 テブレノン	白血球減少症	死亡	統合失調症、慢性肺炎、慢性糸球体腎炎、糖尿病、胃炎及び甲状腺機能低下症のため、入院治療中。インフルエンザが疑われ、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用(併用薬は左記のとおり)。次の日の夜、状態急変。その翌日の朝、白血球減少症、肺炎等が確認され、その後、呼吸困難を発現。さらに次の日、重症肺炎で死亡。	死亡-56	

死亡症例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
59	B-04025470	男性	75歳	150mg	クラリスロマイシン 核皮エキス・リン酸コデイン 塩酸プロムヘキシン 鎮咳配合剤 アセトアミノフェン 硫酸イソプロテレノール・臭化メチルア トロピン配合剤 電解質輸液 リン酸ヒドロコルチゾンナトリウム 硫酸セフピロム	劇症肝炎	死亡	インフルエンザ及び気管支肺炎と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。その5日後、救急で搬送され、劇症肝炎と診断。約3週間後、劇症肝炎及び出血で死亡。	死亡-57	
60	B03-4121	男性	77歳	150mg	セフトリアキソンナトリウム クラリスロマイシン テオフィリン モンテルカストナトリウム ツロプテロール スルバクタムナトリウム・セフォペラゾ ンナトリウム 塩酸ミノサイクリン コハク酸メチルプレドニゾンナトリウ ム フロセミド	多臓器不全	死亡	肺結核の既往歴あり。境界型糖尿病の患者。インフルエンザ陰性と診断されたが、次の日、症状改善なく、リン酸オセルタミビル150mg/日を処方(その後の経過を含め、併用薬は左記のとおり)。翌日、脱力感があり、体が動かなくなって、入院。肺炎が疑われ、抗生物質の投与を受けるが、症状が増悪。その次の日、急性肺炎で死亡。	死亡-58	
61	B-07025348	男性	79歳	75 mg		死亡	死亡	受診し、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方、本剤内服。 ねむっていたが、意識がないことに気付いた。処置を行うものの反応ないため、蘇生中止。死亡。		2007/10/1以降新 規報告
62	B-05023782	女性	82歳	75mg	アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル	アナフィラキ シーショック	死亡	慢性心不全の患者。発熱があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル75 mgを服用(併用薬は左記のとおり)。本剤服用直後にアナフィラキシーショックを発現し、約1時間後、病院に搬送されたが、死亡。	死亡-59	
63	B-04006094	女性	83歳	150mg	セフトレニピボキシル セフメタゾールナトリウム ハロベリドール 塩酸プロパフェノン スピロラクソン フロセミド 塩酸エベリゾン エチゾラム ゾピクロン 酸化マグネシウム センノシド ジゴキシン ファモチジン 酪酸菌製剤	肝障害	死亡	完全房室ブロックの既往歴あり。肺炎及び心不全のため、入院治療中。インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日の服用を開始(併用薬は左記のとおり)。服用3日目、血圧低下及び肝機能障害が発現したため、朝リン酸オセルタミビル75mgを服用後、服用を中止。次の日、呼吸不全及び肝不全で死亡。剖検の結果、うっ血性心不全及び中心静脈域のうっ血を伴う壊死を確認。	死亡-60	

死亡症例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
64	B-06024895	女性	83歳	150mg	アセトアミノフェン グリベンクラミド エバルレスタット 塩酸テラゾシン プラバスタチンナトリウム クエン酸モサプリド クロチアゼパム バンデチン メコバラミン	心肺停止	死亡	糖尿病、高脂血症治療中。咽頭痛、発熱(38.6℃)あり。インフルエンザA型と診断された。インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビルを服用(何回服用したかは不明)。服用を開始してから3日後ジュースを飲ませた後に突然呼吸停止。	死亡-61	
65	B-03006021	女性	84歳	150mg	セフジレンピボキシル 小柴胡湯 葛根湯 総合感冒剤	肺線維症	死亡	脳梗塞の既往歴あり。アルツハイマーの患者。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を4日分処方(併用薬は左記のとおり)。その5日後、肺線維症を発症。死亡時は不明。担当医の協力が得られず、その詳細は調査不能。	死亡-62	
66	B-06003673	女性	84歳	150mg	桂枝湯 バルサルタン 麻黄湯	再生不良性貧血	死亡	心臓ペースメーカーが植え込まれた、本態性高血圧症の患者。発熱及び倦怠感があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。その後、インフルエンザは軽快・回復するが、再度38℃以上の発熱が認められ、汎血球減少が発現し、入院。その3ヶ月半後、死亡。	死亡-63	
67	B-05026721	女性	86歳	150mg	ロサルタンカリウム フロセミド 塩酸ベプリジル インドメタシン ロキソプロフェンナトリウム ゾピクロン セファゾリンナトリウム リン酸リンダマイシン メロペネム三水和物 ワルファリンカリウム ポリスチレンスルホン酸カルシウム	白血球減少症 無顆粒球症 敗血症	死亡 死亡 死亡	心房細動、硬膜下血腫、大腿骨頸部骨折の既往歴あり。顔面皮膚悪性腫瘍、高血圧、不整脈で治療中。発熱、咳、感冒症状があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用前より白血球減少が発現。服用開始から2日後、白血球減少症に加えて無顆粒球症が発現し、人工呼吸管理となり、血圧維持困難となった。服用開始から4日後、重症肺炎、敗血症で死亡。	死亡-64	2007/10/1以降追加報告
68	B-05002112	女性	87歳	150mg	ベシル酸アムロジピン フェニトインナトリウム 硝酸イソソルビド アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン ピペラシリンナトリウム	播種性血管内凝固	死亡	脳梗塞及びびんかんの患者。肺炎により入院中で、長期臥床状態。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。6日後に解熱したが、同時に皮下出血斑及び口腔内粘膜から出血。その3日後、播種性血管内凝固と診断。その5日後に死亡。	死亡-65	
69	B-07000196	女性	87歳	75 mg	クラリスロマイシン トラネキサム酸 塩酸アムプロキソール アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(マルトース加) 幼牛血液抽出物	心肺停止 低酸素症 胃腸出血	死亡 死亡 軽快	38.4度の発熱があり、インフルエンザA型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを処方。その後自宅に戻った。同日夕方、本剤1カプセル服用。深夜0:30、心肺停止状態となり、救急搬送される。挿管、ボスミン静注で心機能は回復したが、肺機能が回復せず、人工呼吸器使用。救命措置により持ち直し、入院。その5日後、死亡。	死亡-66	2007/10/1以降追加報告

死亡症例の概要(年齢順)

(販売開始(平成13年12月)から平成20年3月31日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No	備考	
70	B-03010095	男性	89歳	150mg	ベシル酸アムロジピン ロサルタンカリウム テブレノン	肝障害 肺障害 腎障害	軽快 軽快 死亡	高血圧、完全房室ブロック、慢性肝炎、胃炎、不眠症及び軽度の腎障害の患者。38°Cの発熱があり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始(併用薬は左記のとおり)。服用5日目、全身倦怠感が表れ入院した。肝臓・腎臓障害、低酸素血症、呼吸苦、及び全身浮腫が出現し、入院してから約3週間後、腎不全及び高塞血症により死亡。	死亡-67		
71	B-05003268	女性	91歳	150mg			白血球数減少 血小板数減少	死亡 死亡	高血圧及び胃炎の患者。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始。服用3日目、血小板数減少、白血球数減少が発現し、死亡。担当医の協力が得られず、その詳細は不明。	死亡-68	
72	B-07000232	男性	93歳	150mg		アレルギー性 肺炎	死亡	A型インフルエンザのため、本剤処方。投与3日目、食思不振となり、本剤投与中止。 投与中止5日目、アレルギー性肺炎(間質性肺炎)が発現。 投与中止6日目、呼吸困難増悪、発熱継続(38°C以上)。デカドロン4mg/日投与開始。 投与中止21日目、症状改善せず、呼吸不全にて死亡。	死亡-69		
73	B-05001178	男性	94歳	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸チクロピジン センシド ニフェジピン	胃腸出血	死亡	慢性腎不全、脳梗塞、便秘、及び高血圧の患者。血液透析を約10年前から施行。インフルエンザA型と診断され、入院。当日の夕方リン酸オセルタミビル75mgを服用(併用薬は左記のとおり)。入院4日目の夕方、不穏な行動あり(少し認知症の気があった)、その後嘔吐(潜血反応+)あり。その3日後の夜以降、下血が続き、深夜、呼吸状態が悪化し、血圧低下、心拍数低下となり、次の日の早朝、死亡を確認。 [異常な行動が記録されている事例 No.308 に同じ]	死亡-70 異常-278		
74	B-05000882	女性	95歳	75mg	アミノフィリン 塩酸プロムヘキシン 塩酸セフェピム リン酸デキサメタゾンナトリウム	突然死 呼吸停止	死亡 死亡	甲状腺原発悪性リンパ腫術を6年前に施行。うっ血性心不全の患者。インフルエンザB型と診断され、その日の夕方、リン酸オセルタミビル75mgを服用し、入院(併用薬は左記のとおり)。翌日の朝、本剤75mgを服用し、夕方の回診時には、呼吸苦及び喘鳴が改善。約1時間後、再度の回診時、すでに呼吸が停止しており、死亡。	死亡-71	2007/10/1以降追加報告	